

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～卒業生の保護者の方から、メッセージが届きました！～

この生徒指導部通心（信）は、学校HPの「Blog『県高生活』」にもアップしています。体育祭の翌日・・・72回生の卒業生の保護者の方から・・・この通心（信）13号・14号「夢のかなえ方 その①・②」について、ご自身のご経験もふまえて連絡をいただきました。「これは・・・君たちへのメッセージだ」と思い、この通心（信）への掲載をお願いしたところ、快諾していただきました。是非読んでみてください。

おはようございます。9月なのに残暑きびしいですね。

県伊丹の前を通ると体育祭だったと息子が話しておりました。

いつも通心ありがとうございます。拝読しながら思い出していたことがあります。

私は地元、〇〇〇の短大に通いました。

高校生の時は、先生の影響で、高校の現国の先生になりたいと思っていました。

しかし、進路指導が進むにつれて、環境を理由にして、目指す前から選択肢から外していました。

今だから感じることですが・・・

両親から反対されても県外の大学に行きたいことをプレゼンすればよかったこと。

自分で調べたり、先生に相談すれば、学費を工面する方法があったはずだということ。

一人暮らしではなく寮もあったかもしれないこと・・・

「何をしたいか」ということが後になっていた。

まず、自分のやりたいことがあるなら、その後に環境や条件は自分なりに合わせてカスタマイズできること。

手段を知らないこと、無知は損だと思えます。

やりたいことがあるなら、行く道が下道だろうが高速だろうが、たどり着く方法は必ずある。

話は長くなりますが・・・

その後、〇〇〇の文化や文学を学ぶ短大に担任の先生の勧めで入学しました。

その時の先生方から学んだこと、そして、その時に一緒に学んだクラスメイトとの出会いは、私のその後の生き方にとっても影響を与えました。

最初の思いとは違っていても、やりたいことを話していたことで・・・

導いていただいたと思っています。

若い力は、一番の強みですよ。

悩む時間もいつかのための大切な蓄えですもんね。

若い力が羨ましいです 😊👏

長くなりました。残暑厳しいですがご自愛ください。



「やりたいことがあるなら、行く道が下道だろうが高速だろうが、たどり着く方法は必ずある。」という言葉が印象に残りました。

「本当の自分」が・・・「思っていること・・・感じていること・・・考えていること・・・やりたいこと」を・・・素直に受け入れてみませんか？

卒業生からも時折、通心（信）の感想などを届けてくれます。

非常にうれしいものです。君たちの感想も是非聞かせてくださいね。